

校訓	真善美	令和5年度 学校だより	発行日	令和5年10月11日
教育目標	自ら考え、行動し、 未来を創造できる生徒の育成 感謝する心、確かな学力、健やかな心を育てる	「荒中だより」 10月 神無月 October 第20号	発行者	伊丹市立荒牧中学校 校長 山崎 佳恵

【 2学期中間テスト 】

明日から2日間は、中間テストです。3年生は、進路を決めるために重要な到達度テストが10月31日に控えています。短期的にテストがありますが、目標を決めて、達成させるための努力を積み、全力で取り組み、結果から次の目標や取り組み方を調整していくという繰り返しで、自分にあった学習方法で、学力が定着します。受験は、団体戦。3年生だけではなく、1, 2年生も自分事として今しなくてはならないことに悔いなく取り組める姿勢が必要です。義務教育の終わる中学校の出口の保障はありません。自分で選択して、努力して、つかむものなのです。進みたい進路に進めるように、自分で考え、行動しなければなりません。伊丹市少年愛護センター通信に、兵庫県立伊丹高等学校 生徒会長 貴島 慶次 さんの『後悔する勇気』という作文が掲載されました。ご本人の許可をいただき、みなさんにも是非読んでほしくて紹介します。個々の、共感等、感じた気持ちを大切にしてほしいと思います。(裏面)

【 週明けから、合唱練習開始 !! 】

10月26日(木)、27日(金)は、学習発表会です。26日は、展示鑑賞と27日の準備、27日は、保護者の方々や来賓の方もお迎えして、午前・合唱コンクール、午後・舞台発表です。合唱コンクールでは、表彰に大きな変更があり、今年度からは、各学年最優秀賞、優秀賞、優良賞の3クラスが表彰されます。また、1, 2年生の最優秀クラスは、11月1日(水)市内8中学校の最優秀賞を獲得したクラスが集う交歓音楽会に荒牧中学校代表として出場します。夏休み前から、伴奏の人は練習を積んできています。指揮者の人は、伴奏者とともにクラスをまとめ、クラスが目指す合唱に仕上げていかなければなりません。『心をあわせる』事を目標に、悔いのない合唱をみんなで創ってください。体育大会では、学年みんなで力を合わせて素晴らしい演技を仕上げ、多くの人に感動を届けました。学習発表会の合唱コンクールでは、クラスの心をあわせて、多くの人に感動を届けてほしいと思います。



「後悔する勇気」

兵庫県立伊丹高等学校

生徒会長 貴島 慶次

僕はよく後悔をします。夜寝る前に些細な事でも、なぜあんな事をしてしまったのだろう、こうすればよかったのに、などとよく思います。いつだってチャンスは一期一会、一度きりです。その場その場で納得のいく行動ができるなんて思っていません。ですが後悔してしまいます。なぜ人は後悔するのでしょうか？僕は「人は誰もが理想の自分像を持っていて、その自分像に合わない行動をしてしまった時に後悔するのだ」と思います。つまり、後悔することは自分の理想に近づこうとしている証拠だと思っています。今の僕たちにとってそれはしんどいことかもしれませんが、成長には欠かせないことでもあります。しかし「後悔しないように頑張れ」という言葉を聞くことがあります。この言葉は、「自分の理想を叶えるために力を尽くそう。」という意味だと思っています。この言葉のように後悔しないよう努力をすることも、成長には欠かせません。さて、では後悔することは良いことなのでしょうか？それとも悪いことなのでしょうか？

僕は、後悔はしても良いと思います。でも、後悔を増やさないように何にでも積極的に挑戦していくべきだとも思っています。中学3年生の時、当時の担任の先生が僕に教えてくれました。「積み重ねたことには、一つたりとも無駄なんてない。」と。成人年齢が18歳になった今、僕は大人になろうとしています。今までの約17年間、たくさん後悔をしてきました。

けれど、失敗して何度も後悔してきたことを悔やんではいません。なぜなら、今まで積み重ねてきたどんな些細な出来事でも今の自分につながっていて、これからの自分を形作っていくことを知ったからです。勇気を出して挑戦し努力したことは、その結果がどうであれ必ず自分の経験値になって、人生を豊かにしていく。こう考えると人生100年時代と言われている今、まだまだ長い道のりがほんの少し楽しみになりました。このことに気づかせてくれた当時の担任の先生にとっても感謝しています。

「迷ったっていいじゃない。人生は誰だって初めてだ。」僕が好きな本の中の言葉です。あのときこうすればよかった、なんて後悔して自己嫌悪になることもあります。そんな時、この言葉を思い出すようにしています。後悔しない人なんて誰一人もいないし、間違えて、失敗して、後悔することは全然悪いことじゃない。この言葉のおかげで僕は日々様々なことに挑戦することができています。もし同じように自己嫌悪になっている人がいたらこの言葉を知って、前向きになって欲しいと思います。

今の僕たちは目の前のことに必死で、なかなか成長出来ずにいるかもしれません。そんな時に広い視野を持って迷うことを恐れず、勇気をだして一步步進んでいく意識や姿勢が青少年の健全育成には必要だと思いました。

(伊丹市少年愛護センター通信 NO.415 令和5年10月6日より)

人生一期一会です。荒牧中学校での、人との出逢いは財産です。この学校で良かった。みんなと出逢えて良かった。と、荒牧中学校で過ごした中学時代を誇れる人生を送りたいですね。